

富山デザインコンペティション2023審査結果 —受賞者および作品名—

1 グランプリ

ハーベスト やまもと あつし
HARVEST / 山本 敦

<HARVEST>はワイングラスのようにステムとフットの付いたフードストレージのプロダクトシリーズです。スパイスなどを入れるのに適しています。

まるで樹木のような形をしているので異なる形のアイテムを並べることで、森のようにスタイリングすることができます。

HARVESTは収穫を意味しており、植物の実りを収穫するような体験で、日々の生活を彩ります。



■プロフィール

1988年生まれ 京都出身。

2015年 京都造形芸術大学(現、京都芸術大学)卒業。

2015~2022年に株式会社キュリオシティでデザイナーとして従事し、

現在はフリーランスとして活動。

2 準グランプリ

うみ こばやし けん
海の balan / 小林 遣

富山県の豊かな海の幸にびったりな、波の見た目をした海の balan をデザインしました。具材のアクセントに差し込むことで、お弁当に鮮やかな大海原が出来上がります。海鮮料理の美味しさを引き立てる、新しい balan の提案です。



■プロフィール

1997年 山口県萩市生まれ。2020年に名古屋市立大学芸術工学部を卒業。現在はインハウスデザイナーとして生活雑貨メーカーにて企画・デザインを担当。

3 審査員特別賞

はこ がもう こうじ
ラクに運べるバケツ / 蒲生 孝志

スタンダードな日用品である「バケツ」を機能の面から再構築しました。「水を運ぶ」という機能に焦点を当て、既存の製品の不満点を洗い出し、解決した一つの答えがこの作品です。



■プロフィール

大阪を拠点にしているフリーランスのプロダクトデザイナーです。

主に家庭用品・スポーツ用品・文具など身の回りのあらゆるプロダクトのデザイン・設計を承っています。

富山デザインコンペティション2023審査結果 —受賞者および作品名—

4 学生賞

プラス きした かい
Plus / 木下 快

Plusは一冊分を収納できる空間を新たに作り出すことで、読みかけの本や好きな本をいつでも取り出しやすい場所に置いておけるブックスタンドです。Plusを用いることでブックスタンドを動かさなくても、よく読む本や、毎日をする日記、さらにはお気に入りの本をストレスなく出し入れすることができます。使う人がそれぞれの一冊を手の届きやすい場所にプラスすることで、新たなストーリーが生まれます。



■プロフィール

大阪府出身。京都工芸繊維大学大学院デザイン学専攻。九州大学芸術工学部での学部時代には、製品や生活環境を計画・設計を学び、大学院では、より包括的な視点から幅広いデザインに取り組んでいる。今年の冬からロンドン芸術大学に留学予定。趣味は温泉巡り。

5 学生賞

あいぞ こい ひらた なお
藍染めの鯉のぼり / 平田 奈穂

富山県魚津市鹿熊にある、南部歩美さんが営むaiyaの藍染めで作る藍色の鯉のぼり。「鹿熊の鯉のぼりは青い。」子供が少ないという課題を抱えた鹿熊で、子供達と、鹿熊と藍染めの出会いを作るプロダクト。絞り染めという技法を用いるので、絞りを行う雇用も生まれ、鹿熊内の活性化も図ることができる。鹿熊の文化の一つとなるようなプロダクトを目指す。全く同じものはできない、世界に一つだけの想いのこもった鯉のぼり。



■プロフィール

20歳。富山大学芸術文化学部芸術文化学科デザインコースに所属している。2021年に入学し、現在3年生で、2年次からデザインコースを選択し、ビジュアルデザイン、プロダクトデザインなどデザインについて広く学んでいる。